

～日本の宝：和牛を守る～

## 池田一成さん（愛南町（旧一本松町））

和牛繁殖農家

愛媛県肉牛生産者協議会副会長など 1981年生まれ



### ☆経営概況☆

和牛繁殖経営に取り組んでいます私の家では黒毛和種の子牛を270日程度育てたものを、家畜市場を通じて肥育農家へ販売しています。現在の規模は母牛43頭です。また、肥育技術の習得のため肥育牛も3頭飼育中です。

### ☆ここがポイント☆

#### ■就農の経緯等

祖父が和牛繁殖経営を行っており、子供のころから祖父の働く姿を見ていました。しかし、高校卒業時には、農業とは異なる分野の大学を選び、将来は異分野の経営主として独立することを夢見ていました。大学在学中「自分は本当に牛が好きだ！」と言うことに改めて気づき、経営主として独立するには和牛繁殖経営しかない！と就農を決断しました。決断したら即行動、祖父の元で和牛繁殖経営の勉強を開始し、その後、さらに専門的な勉強を宮崎県で行いました。平成16年に就農しましたが、就農前に学び、同じ道を進む仲間に出会えたことは貴重な財産です。

#### ■経営の特徴等

和牛繁殖経営は母牛が妊娠してから子牛を市場に出荷するまで600日近くかかります。長期間大切に育てた子牛ですが、その値段は市場のセリで一瞬で決まるため、仕事の全てに自分の思いが詰まっています。気を抜けない大変厳しいものですが、良い牛を出荷すればきちんと評価されるため、モチベーションを高く保って仕事ができています。

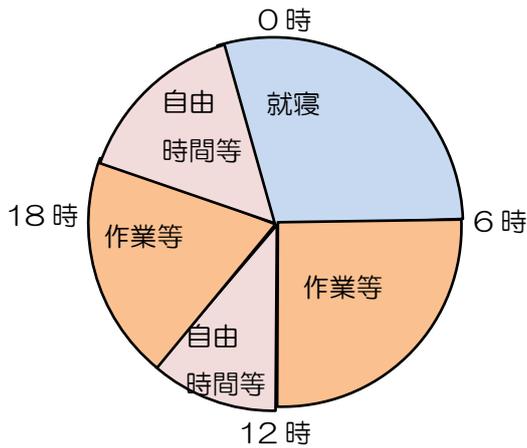


共進会への出品は仕事の励みに



食農教育など、地域活動への協力も積極的に行っています

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

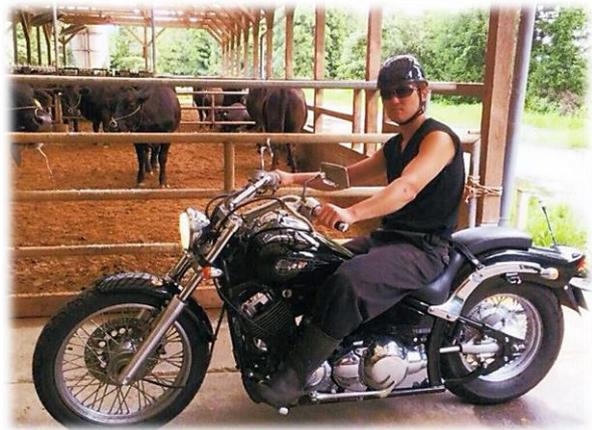
早朝から夜にかけて作業がありますが、昼間は比較的自由な時間をとることができるのが特徴です。ただし、様々な会議への出席や書類の作成、JA等関係機関との打合せなどを行うことも多いです。また、県外への視察や母牛の買い付けなど、長時間家を空ける時は家族の協力を助けられています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	←————— 出産シーズンの11~2月は休みが無いことも —————→					
【暇時期】	←—————				- - - - - →	
	父親の協力で妻や子供たちと旅行に行くこともあります					



支えとなってくれている家族



忙しいですが、趣味の時間も取ることができます

☆これからの夢や目指すもの☆

まずは規模拡大に取り組んでいきます。また、今後は6次産業化も必要と考え、そのための勉強や情報収集を行っています。

将来、自分の子供に自信を持って継がせることができるような経営にすることが夢です。

☆メッセージ☆

大変ですがやりがいのある仕事です。日本の宝である和牛を一緒に盛り上げましょう。